



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社unerry 上場取引所 東
 コード番号 5034 URL <https://www.unerry.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 内山 英俊
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO 経営企画部長（氏名） 斎藤 泰志（TEL）03-6823-8234
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期第2四半期の業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	1,148	20.7	△34	—	△36	—	△22	—
2023年6月期第2四半期	951	—	△36	—	△41	—	△40	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期第2四半期	△6.25		—					
2023年6月期第2四半期	△11.89		—					

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 2022年6月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2024年6月期第2四半期	1,862		1,529		82.0	
2023年6月期	1,510		1,097		72.4	

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 1,527百万円 2023年6月期 1,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00			
2024年6月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,898	39.6	117	233.4	117	235.2	65	599.4	18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年6月期2Q	3,727,200株	2023年6月期	3,564,200株
2024年6月期2Q	38,729株	2023年6月期	40,539株
2024年6月期2Q	3,634,463株	2023年6月期2Q	3,442,226株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類への分類移行に伴い、行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進んだものの、円安傾向の継続や国際情勢の緊迫化、エネルギー価格の高騰による物価上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社は、ミッションである「心地よい未来を、データとつくる。」の実現に向け、リアル行動ビッグデータの収集体制の拡充や解析精度の向上、サービス開発の推進など、リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank®」の基盤及び利活用の強化に注力してまいりました。

当四半期も新サービスの提供やサービスの拡充に努めてまいりました。具体的には、株式会社インティメート・マージャーのオンラインデータと、当社のオフラインデータを掛け合わせたマーケティング効果測定サービスの提供を開始しました。また、WEBサイト閲覧者の実店舗への来訪を分析できるダッシュボード「Beacon Bank 来店計測 for WEB」の提供を開始しました。

さらに自治体との取り組みも拡大し、株式会社NTTデータと協業して、豊洲エリアへの集客や来訪者分析を目的とした、東京都の「令和5年度東京都データ連携・活用促進プロジェクト」に参画しました。また、千葉県が実施する「アクアラインの人流データレポート作成業務」に当社が採択され、東京湾アクアラインにおける社会実験の効果検証を行いました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,148,141千円(前年同四半期比20.7%増)、営業損失34,206千円(前年同四半期は営業損失36,782千円)、経常損失36,649千円(前年同四半期は経常損失41,412千円)、四半期純損失22,710千円(前年同四半期は四半期純損失40,943千円)、リカーリング顧客売上高1,077,389千円、リカーリング顧客売上高比率93.8%、リカーリング顧客数100社、リカーリング顧客平均売上高10,773千円、NRR118.5%となりました。

なお、当社はBeacon Bank事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて351,899千円増加し、1,862,447千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加213,379千円、売掛金及び契約資産の増加79,189千円、棚卸資産の増加30,199千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて80,347千円減少し、333,108千円となりました。これは主に、買掛金の増加44,767千円、その他の減少124,849千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて432,246千円増加し、1,529,338千円となりました。これは主に、資本剰余金の増加462,794千円、利益剰余金の減少22,710千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ213,379千円増加し、1,340,635千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は133,553千円となりました。これは主に、仕入債務の増加額44,767千円による資金の増加があったものの、売上債権及び契約資産の増加額79,189千円、税引前四半期純損失の計上36,649千円、その他の減少額34,438千円、棚卸資産の増加額30,199千円による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は1,309千円となりました。これは、敷金及び保証金の回収による収入1,072千円による資金の増加があったものの、敷金及び保証金の差入による支出2,381千円による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は348,385千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出104,993千円があったものの、株式の発行による収入418,001千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入33,752千円による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,127,256	1,340,635
売掛金及び契約資産	252,394	331,583
棚卸資産	24,133	54,332
その他	16,339	30,920
貸倒引当金	△4,125	△4,125
流動資産合計	1,415,997	1,753,347
固定資産		
無形固定資産	32	17
投資その他の資産	94,517	109,082
固定資産合計	94,550	109,100
資産合計	1,510,548	1,862,447
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,795	260,562
1年内返済予定の長期借入金	104,993	—
未払法人税等	528	264
その他	92,138	72,282
流動負債合計	413,455	333,108
負債合計	413,455	333,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,484	11,627
資本剰余金	925,168	1,387,962
利益剰余金	152,886	130,175
自己株式	△2,352	△2,386
株主資本合計	1,094,186	1,527,379
新株予約権	2,905	1,959
純資産合計	1,097,092	1,529,338
負債純資産合計	1,510,548	1,862,447

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	951,003	1,148,141
売上原価	664,996	801,983
売上総利益	286,006	346,158
販売費及び一般管理費	322,789	380,365
営業損失(△)	△36,782	△34,206
営業外収益		
受取利息	4	5
ポイント還元収入	281	138
助成金収入	105	17
その他	0	48
営業外収益合計	391	210
営業外費用		
支払利息	105	17
為替差損	26	1,055
株式交付費	—	1,578
上場関連費用	4,888	—
その他	0	0
営業外費用合計	5,021	2,652
経常損失(△)	△41,412	△36,649
税引前四半期純損失(△)	△41,412	△36,649
法人税、住民税及び事業税	265	265
法人税等調整額	△733	△14,203
法人税等合計	△468	△13,938
四半期純損失(△)	△40,943	△22,710

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△41,412	△36,649
減価償却費	15	15
受取利息	△4	△5
支払利息	105	17
為替差損益 (△は益)	—	1,091
株式交付費	—	1,578
上場関連費用	4,888	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△136,821	△79,189
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△43,902	△30,199
仕入債務の増減額 (△は減少)	124,945	44,767
その他	5,554	△34,438
小計	△86,630	△133,012
利息の受取額	4	5
利息の支払額	△105	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△265	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,997	△133,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金及び保証金の差入による支出	△273	△2,381
敷金及び保証金の回収による収入	300	1,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△1,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,002	△104,993
株式の発行による収入	—	418,001
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	33,752
自己株式の取得による支出	△109	△147
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	1,771
自己株式の処分による収入	249,749	—
上場関連費用の支出	△7,508	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,128	348,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,157	213,379
現金及び現金同等物の期首残高	900,694	1,127,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,045,852	1,340,635

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月14日開催の取締役会において、三菱食品株式会社との間で業務提携契約と株式引受契約を締結すること並びに三菱食品株式会社に対する第三者割当による新株式の発行を行うことを決議し、2023年8月31日に払込が完了しております。これにより、資本金が209,790千円、資本剰余金が209,790千円増加いたしました。

また、2023年9月29日開催の第8期定時株主総会決議に基づき、2023年11月1日付で減資の効力が発生し、資本金234,042千円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えました。これにより、資本金が234,042千円減少し、資本剰余金が234,042千円増加しました。

これらの結果等により、当第2四半期会計期間末において資本金が11,627千円、資本剰余金が1,387,962千円となっております。